

株式会社 メイプル牧場

■法人の概要

法人名 株式会社 メイプル牧場
代表者 代表取締役 山崎孝博
所在地 〒698-2251 益田市黒周町口1246-3
設立 平成17年10月
資本金 5,010万円



■農業参入の概要

参入形態 別法人を設立
支援事業の活用

調査研究	整備事業	促進資金	国補助事業
H18	H18	-	H18

(関連会社) (株)安野産業

現在、酪農情勢は大変な状況にあります。しかし、大変な状況だからこそ、“きれいな牧場から、安心して飲める、おいしい牛乳”を目標に、日々頑張っていこうと思っています。

代表取締役 山崎孝博

■農業経営の目標(平成23年)

経営規模 繁殖和牛200頭、搾乳牛300頭
従業員等 常時従事者4名、臨時雇用6名
販売額 267百万円

■農業参入の動機・きっかけ・目的

地元で大規模肉用牛経営に取組む農事組合法人松永牧場は、地域内から肥育素牛の安定確保を目指していた。一方、公共事業の削減が続く中で、新分野進出を検討していた安野産業(製材、土木工事等)は自社で排出されるおがくずが畜産分野で有効利用できることに着目。また地元産牛乳の地域への供給ができなかったこともあり、同社と松永牧場が連携し、更に地元農業者、獣医師が加わったメイプル牧場を設立した。

■取組の主な特徴と今後の事業展開等

【取組の主な特徴】

- 搾乳牛1頭ごとの乳質管理が常時可能なシステムを導入。
- 家畜糞尿の熱処理による敷料としての再利用と堆肥製造。また、その余熱を利用したアスパラガスのハウス栽培に挑戦。

【今後の課題・事業展開】

- 飼料代の上昇に対するコスト削減。
- 地域内農業者との稲わら・堆肥交換。(耕畜連携の促進)
- 牛乳製品の地域内消費の拡大。(地産地消との連携)



【牧場施設の全景】



【個体別乳質管理が可能なロボット搾乳施設】